会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和 6 年度第 1 回瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員会
開催日時	令和 6 年 1 2 月 2 5 日（水） 午前 1 0 時 3 0 分～午前 1 1 時 5 分
開催場所	高松市防災合同庁舎 3 階 3 0 1 会議室
議 題	（ 1 ） 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの取組実績（令和 5 年度）について （ 2 ） 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組の新規事業について（令和 7 年度以降実施分） （ 3 ） その他
公開の区分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開
上記理由	
出席委員	大西会長、大見副会長、大山委員（代理：中村）、上村委員、渡邊委員、岡野委員、濱野委員、大江委員、谷委員、伊藤委員、富田委員、小林委員、井下委員、前田委員、河野委員
傍 聴 者	0 人 （定員 2 0 人）
報道機関	2 人
担当課及び 連絡先	政策課（087-839-2135）

会議経過及び会議結果	
会議の概要は、次のとおり	
議題（ 1 ） 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの取組実績（令和 5 年度）について	
事務局から瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの取組実績（令和 5 年度）について説明。 （意見なし）	
議題（ 2 ） 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組の新規事業について（令和 7 年度以降実施分）	
事務局から瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組の新規事業について	

説明。

(委員)

新規事業の官民共創ビジネスマッチング事業について、距離的に近い関西圏へのアプローチは非常に重要。地元産業や地元産品の商品開発や、イベントとの連携も視野に入れて検討する必要がある。

(事務局)

大都市圏の企業は様々なソリューションを持っているため、各自治体が抱える地域課題の解決も図っていききたい。

また、地元産品を使用した商品開発や PR についても大都市圏の企業とのマッチングを図っていくとともに、自治体 PR ブースを出展し、シティプロモーションも推進していききたい。

(委員)

関西圏を中心とした大都市圏と資料にあるが、東京圏や名古屋圏も可能性はあるのか。

(事務局)

主には関西圏を想定しているが、東京圏、名古屋圏も視野に入れている。

高松市が設けた東京事務所が入居するシェアオフィスの運営企業と連携し、大都市圏のスペースでのイベントを検討している。

(会長)

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組の新規事業について、事務局から説明したとおり、進めていくということによろしいか。

(異議なし)

議題(3) その他

(会長)

令和7年には、大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭2025が開催される。

高松市では、万博出展や、参画する西のゴールデンルートアライアンスでの誘客促進に取り組む。

本圏域でも、この機会を好機と捉え、誘客促進等に取り組む必要があるが、

誘客促進の取組みや市町で検討していることがあれば、御発言いただきたい。

(委員)

東かがわ市は、瀬戸内国際芸術祭2025では、夏会期に初参加する。

さぬき市と共に、会場とさぬき市を結ぶシャトルバスの運行や、小豆島から臨時航路の運航を検討している。圏域で相互送客できるような交通網を作ろうと関係各所と協議を行っているところである。

(委員)

土庄町は、初回の瀬戸内国際芸術祭2010から参加している。

外国人観光客が年々増加しているが、島内の交通については、運転手不足で厳しい状況にある。そのため、民間と連携して、シェアサイクルを導入するなどしている。

オーバーツーリズム対策として、土庄町では増加する滞在時間に対応するため、エンジェルロードの駐車場の有料化を進めており、バスロケーションシステムの導入や、電動バイクの導入も検討している。

(委員)

香川県内では、瀬戸内国際芸術祭の会場になっていない自治体が綾川町と三木町だが、好機と捉え、有効に利用したい。

瀬戸内国際芸術祭等を契機に訪れる多くの観光客が、中山間地域に来てもらえる仕組みづくりを地元とともにやっていきたい。

(委員)

万博に、綾川町の念仏踊りと三木町の獅子舞を出展する。

また、首里城を3度救ったと言われる三木町出身の鎌倉芳太郎氏が縁で、沖縄と交流を深めており、鎌倉氏を中心とした沖縄交流を推進している。高松ー沖縄便をよろしくお願ひしたい。

(会長)

高松空港と海外を結ぶ直行便を利用し、非常に多くの方が近隣を周遊している。

令和7年には香川県立アリーナが完成し、有名バンドのコンサート開催日は、周辺ホテルが満室に近く、近県のホテルも予約が埋まっている状況と聞

く。

連携市町でも大型イベントで、圏域を訪れる観光客等を受け入れる宿泊施設があれば、圏域で滞在してもらうことができるので、そのあたりも連携して取り組んでまいりたい。

以上で、本日の会議を終了する。

以上